

【 注意事項 確認画面 】

※実際の試験では、本画面に受験上の注意事項を表示し、受験者が試験開始前に確認することを予定しています。

ここでは、体験版の注意事項や使用方法等について説明します。

<体験版の注意事項等>

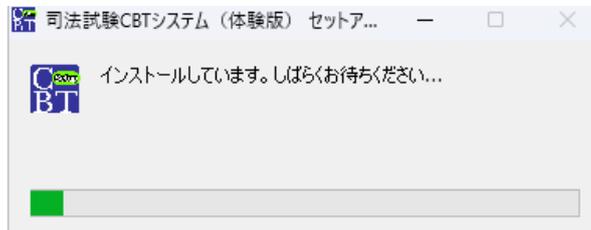
- 本アプリケーションは、体験版であり、実際の試験に使用するアプリケーションの仕様とは異なります。また、実装している機能等については、今後のシステムの開発状況等により変更となる可能性があります。
- 短答式試験及び論文式試験の操作マニュアルに使用している画像は、実際の試験で使用するアプリケーションに表示される画像と異なる場合があります。
- 本アプリケーションを練習の目的以外で使用することを禁止します。
- 本アプリケーションの内容、画像等の一部及び全てについて、無断で複製、転載、転用、改変等の二次利用を固く禁じます。
- 本アプリケーションは、令和6年司法試験の試験問題及び試験用法文を登載しています。

1. 体験版のインストール方法

1. 「[司法試験等 CBT システム（体験版） Setup.exe](#)」をデスクトップに保存します。



2. 保存した「[司法試験等 CBT システム（体験版） Setup.exe](#)」をダブルクリックすると、インストールが行われます。



3. インストール完了後、「[司法試験等 CBT システム（体験版） ショートカット](#)」がデスクトップ上に保存されます。（初回のみ自動的に起動します。）

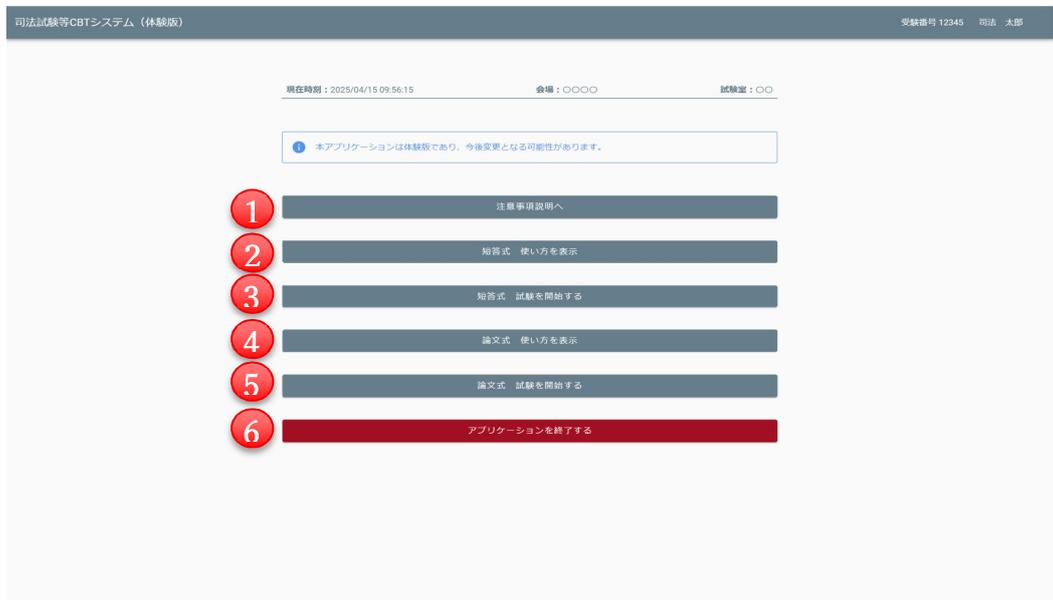


2. 体験版の使用方法

2.1 ホーム画面

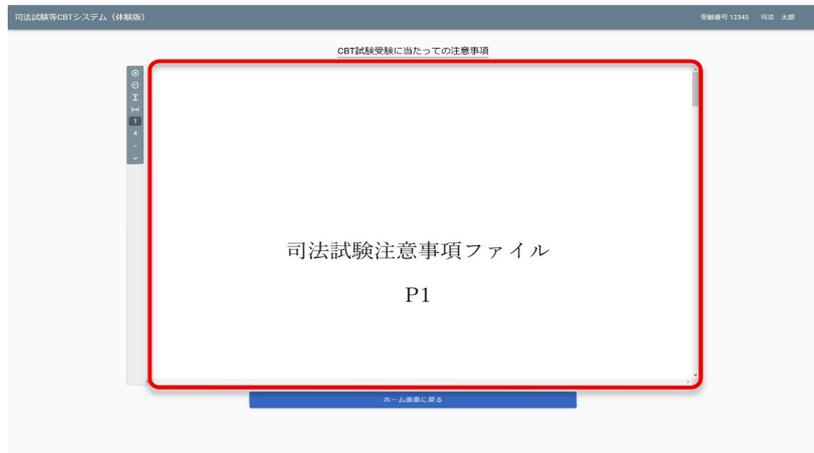
各ボタンの役割は、以下のとおりです。

1. 「**注意事項説明へ**」ボタン
注意事項確認画面に遷移します。
2. 「**短答式 使い方を表示**」ボタン
短答式試験の操作マニュアル画面に遷移します。
3. 「**短答式 試験を開始する**」ボタン
短答式試験の科目選択及び試験時間設定の画面に遷移します。
4. 「**論文式 使い方を表示**」ボタン
論文式試験の操作マニュアル画面に遷移します。
5. 「**論文式 試験を開始する**」ボタン
論文式試験の科目選択及び試験時間設定の画面に遷移します。
6. 「**アプリケーションを終了する**」ボタン
アプリケーションを終了します。



2.2 注意事項説明

1. 注意事項や使い方等が表示されます。

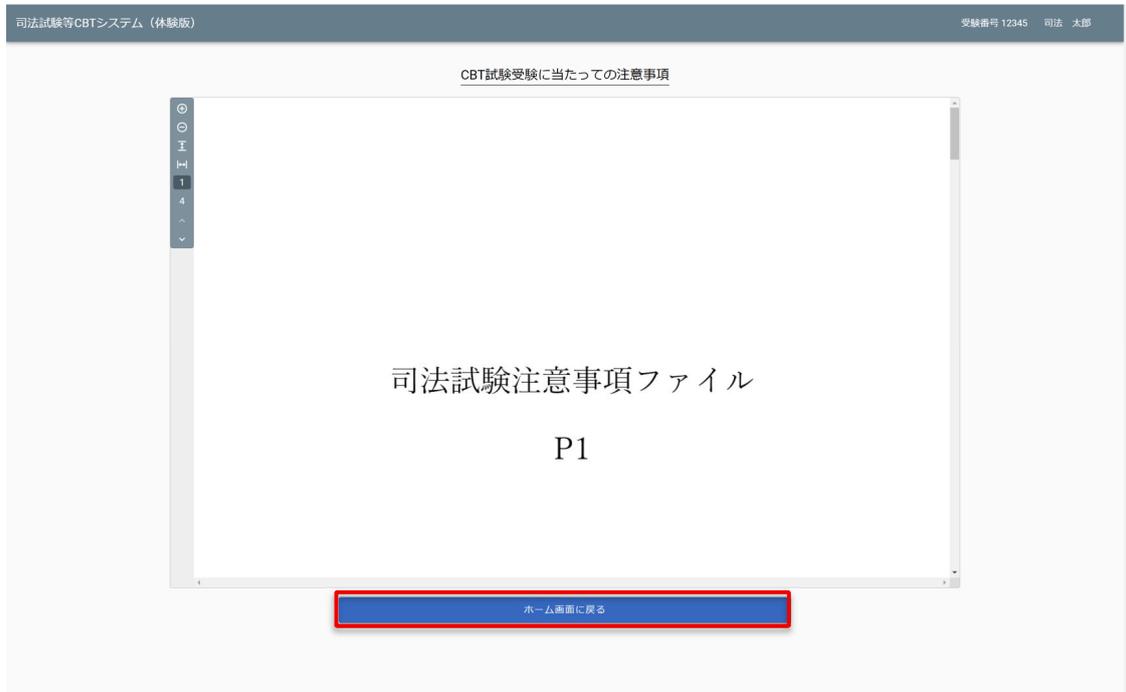


2. 各ツールの機能内容は以下のとおりです。

ツール名称	ツールバーアイコン	機能内容
表示倍率変更ツール		問題エリアの表示倍率の変更が可能です。※1
表示幅変更ツール		問題エリアの縦幅もしくは横幅に合わせた表示が可能です。※1
表示頁変更欄		左側に現在閲覧中の頁数、右側に全体の頁数が表示されます。 左側の頁数に任意の数値を入力することで、該当頁の表示が可能です。
表示頁送りツール		「<」をクリックすることで問題の前頁、「>」ボタンをクリックすることで問題の次頁の表示が可能です。※1

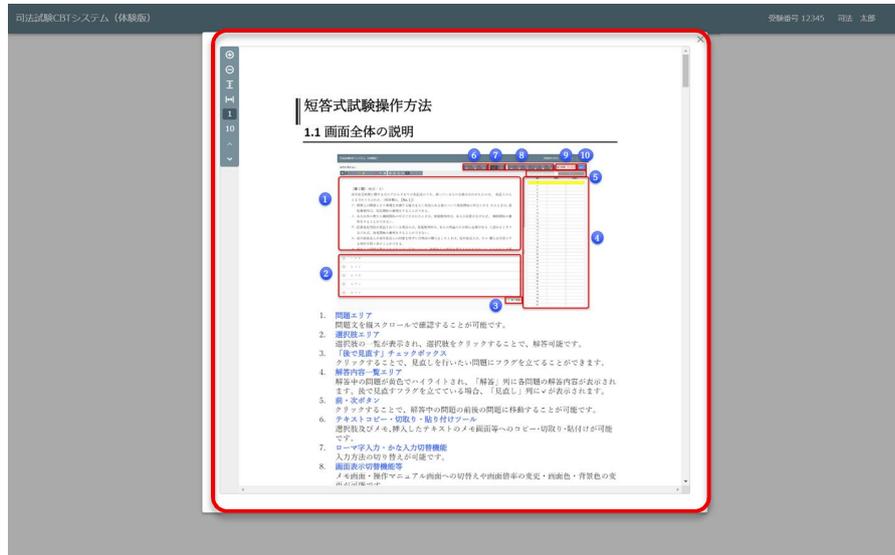
¹ 表示倍率変更ツール、表示幅変更ツール及び表示頁送りツールは、各ツールをクリックすることで使用可能です。

3. 「[ホーム画面に戻る](#)」をクリックすると、ホーム画面に遷移します。



2.3 短答式試験の操作マニュアル表示

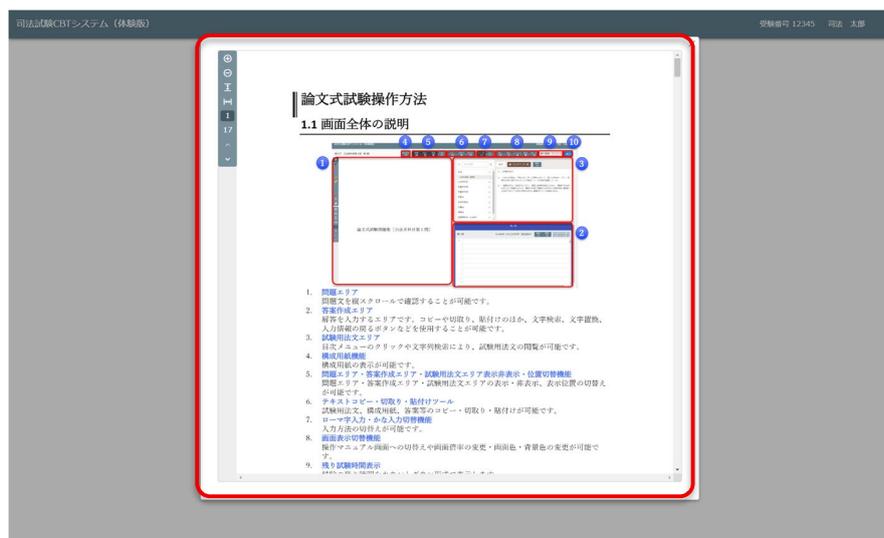
1. 短答式試験に係る操作マニュアルが次のとおり表示されます。ツールバーにある各ツールの機能内容は、注意事項説明のツールバーと同様です。



2. 画面右上の「×」ボタンをクリックすることで、閉じることが可能です。

2.4 論文式試験の操作マニュアル表示

1. 論文式試験に係る操作マニュアルが次のとおり表示されます。ツールバーにある各ツールの機能内容は、注意事項説明のツールバーと同様です。



2. 画面右上の「×」ボタンをクリックすることで、閉じることが可能です。

3. 試験時間の設定・試験開始

3.1 短答式試験の試験選択画面

1. 試験選択

憲法・民法・刑法から科目を選択します。

2. 試験時間（タイマー機能）

任意の時間を入力します。0～999分の間で時間を設定できます。

3. 「開始」ボタン

クリックすることで、試験を開始することができます。

試験選択

試験選択

民法

試験時間

120 分

開始

3.2 論文式試験の試験選択画面

1. 試験選択

倒産法・租税法・経済法・知的財産法・労働法・環境法・国際関係法（公法系）・国際関係法（私法系）・公法系科目第1問・公法系科目第2問・民事系科目第1問・民事系科目第2問・民事系科目第3問・刑事系科目第1問・刑事系科目第2問の中から科目を選択します。

2. 試験時間（タイマー機能）

任意の時間を入力します。0～999分の間で時間を設定できます。

3. 「開始」ボタン

クリックすることで、試験を開始することができます。

試験選択

試験選択

倒産法

試験時間

120 分

開始

<参考 | PCの入力設定方法紹介>

実際の試験では、IMEの予測入力を制限する予定です（入力履歴を使用した学習機能は使用可能とする予定）。

IMEの設定は、使用しているPCに依存するため、設定方法を参考に紹介します。なお、設定方法は、端末によって異なる可能性があります。

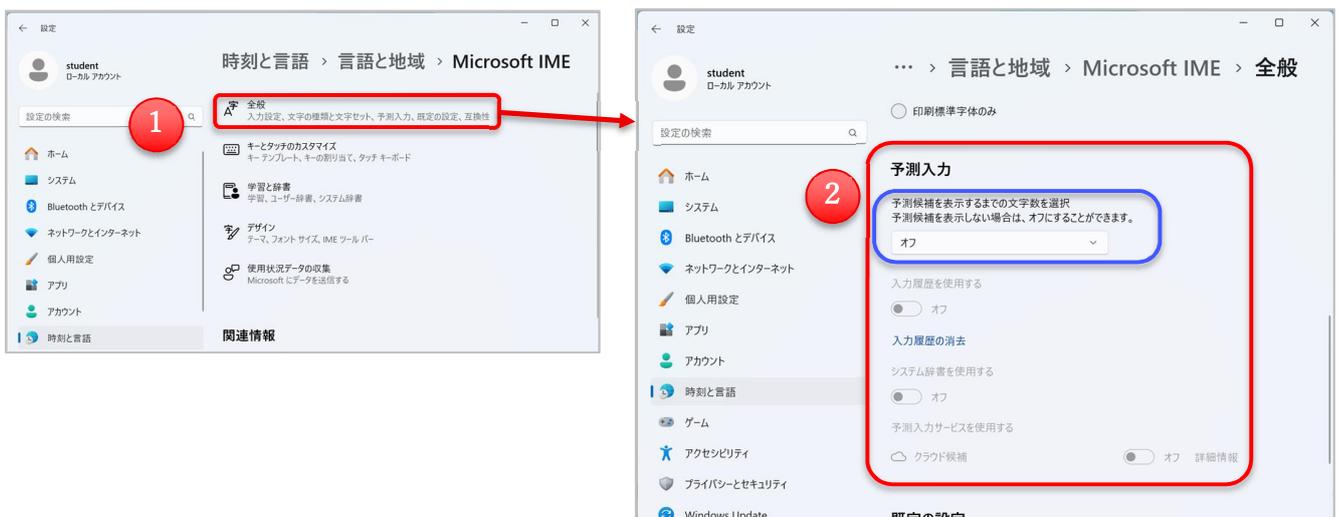
3.1 IME の設定方法（予測入力・学習・辞書）

1. Windows の設定画面を開き、設定画面の検索欄に「IME」と入力します。
2. 検索結果内の「日本語 IME 設定」をクリックすると、「時計と言語 > 言語と地域 > Microsoft IME」が開きます。



3.1.1 予測入力について

1. Microsoft IME の項目「全般」をクリックします。
2. 「予測入力」の「予測候補を表示するまでの文字数を選択」の部分を「オフ」にします



3.1.2 学習と辞書について

1. Microsoft IME の「**学習と辞書**」をクリックします。
2. 「**学習**」の「**入力の精度を高めるために、入力履歴を使用する**」を「**オン**」にします
3. 「**ユーザー辞書**」の「**ユーザー辞書ツールを開く**」をクリックし、単語の一覧に何も登録されていないことを確認します。

